

平成 2 8 年 1 0 月 1 3 日  
2 0 8 及 び 2 0 9 会 議 室

平成 2 8 年第 1 9 回  
立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

平成28年第19回立川市教育委員会定例会

1 日 時 平成28年10月13日(木)

開会 午後 1時

閉会 午後 1時55分

2 場 所 208及び209会議室

3 出席者

教育長 小町 邦彦

教育委員 松野 登 田中 健一

伊藤 憲春 佐伯 雅斗

署名委員 伊藤 憲春

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長 栗原 寛

教育総務課長 庄司 康洋

学務課長 田村 信行

指導課長 小瀬 和彦

統括指導主事 金井 誠

教育支援課長 矢ノ口美穂

統括指導主事 桐井 裕美

学校給食課長 新土 克也

生涯学習推進センター長 浅見 孝男

図書館長 土屋英真子

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 西上 大助

安藤 悦宏

## 案 件

### 1 議案

(1) 議案第38号 教育委員会表彰について

### 2 協議

(1) 統合小学校校名の公募について

### 3 報告

(1) 平成28年第3回立川市議会定例会報告について

### 4 その他

平成28年第19回立川市教育委員会定例会議事日程

平成28年10月13日  
208及び209会議室

1 議案

(1) 議案第38号 教育委員会表彰について

2 協議

(1) 統合小学校校名の公募について

3 報告

(1) 平成28年第3回立川市議会定例会報告について

4 その他

---

◎開会の辞

○小町教育長 ただいまから、平成28年第19回立川市教育委員会定例会を開催いたします。

署名委員に伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 はい。

○小町教育長 次に議事内容の確認を行います。本日は、議案1件、協議1件、報告1件でございます。その他は議事進行過程で確認をいたします。

次に、出席者の確認を行います。栗原教育部長、お願いいたします。

○栗原教育部長 本日の第19回立川市教育委員会定例会への出席管理職でございますが、教育部長、教育総務課長、学務課長、指導課長、金井統括指導主事、教育支援課長、桐井統括指導主事、学校給食課長、生涯学習推進センター長、図書館長でございます。

---

◎議 案

(1) 議案第38号 教育委員会表彰について

○小町教育長 それでは、1議案(1)議案第38号、教育委員会表彰について、を議題といたします。

庄司教育総務課長、説明をお願いいたします。

○庄司教育総務課長 それでは、議案第38号、教育委員会表彰について、ご説明いたします。

本議案につきましては、立川市教育委員会表彰規程に基づき、教育委員会表彰を行うためのものでございます。

それでは、別紙1をご覧ください。

平成28年度立川市教育委員会表彰の該当者一覧でございます。別紙1につきましては、表彰規程第2条第3号(市立学校の児童・生徒)が対象となります。該当内容につきましては、立川市教育委員会表彰基準に定めるものに該当したということでございます。

それでは、該当者及び団体を順次ご説明いたします。なお、敬称は略させていただきます。

1件目です。大会名、平成27年度全日本少年少女武道錬成大会空手道競技、第九小学校、坂本直哉、松中小学校、西元快、上砂川小学校、小嶋海斗。該当内容は、小学5・6年生の部で優秀賞でございます。

2件目です。第16回全日本少年少女空手道選手権大会、新生小学校、夜久修斗。5年男子形の部で第2位でございます。

3件目です。平成28年度関東中学校体育大会第40回関東中学校水泳競技大会、立川第二中学校の二ノ宮巧睦。男子400m個人メドレー第2位でございます。

4件目です。平成27年度JOCジュニアオリンピックカップはまなす杯第10回全国中学生空手道選抜大会、立川第六中学校の萩原日向。2年女子組手第3位でございます。

5件目です。平成28年度全国中学校体育大会第43回全日本中学校陸上競技選手権大会、

立川第六中学校、岡部華鈴。女子共通 走幅跳 出場、女子共通 四種競技 出場でございます。

6 件目です。東日本大震災復興支援第 29 回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会 2016、立川第八中学校、西本有沙。女子第 3 位でございます。

続きまして、裏面の別紙 2 をご覧ください。

別紙 2 につきましては、立川市教育委員会表彰規程第 3 条第 2 号、「体育その他の文化活動において特に優秀な成績をあげたもの」ということで、先ほどご案内しました第 2 条第 3 号以外の方、市内にお住まいであるとか、在勤、在学の方を対象としております。

1 件目です。2016 年度ピティナ・ピアノコンペティション、成蹊小学校の島崎凜音。A1 級 (小学 2 年生以下) 銀賞でございます。

2 件目です。第 28 回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール、東京学芸大学附属小金井小学校の荒川桐真。弦楽器部門小学生の部第 3 位でございます。

3 件目です。第 17 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA、東京学芸大学附属小金井小学校の金網七海。アジア大会小学 3・4 年生部門の奨励賞でございます。

4 件目です。リオデジャネイロオリンピック、曙町在勤の関根花観。陸上女子 10000m 第 20 位でございます。

5 件目です。リオデジャネイロオリンピック、緑町在勤の朝長なつ美。近代五種女子第 13 位でございます。

6 件目です。第 7 回世界シニアバドミントン選手権大会、富士見町、一戸和美。35 歳以上女子ダブルス優勝でございます。

最後に、エベレスト登頂、錦町在住の田村聡。聴覚障害者として世界初のエベレスト登頂に成功いたしました。

以上でございますが、なお、この議案をお認めいただきましたら、早速ご本人に通知をさせていただきます。11 月 3 日に教育委員会表彰を行う予定で今のところ考えております。

説明は以上でございます。

○小町教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

はい、松野委員。

○松野委員 この頑張った業績を認め、そしてまた周りに対しての良い刺激になったと思います。是非、表彰規程に則って表彰していただけたらと思います。

○小町教育長 ほか、ございますか。田中委員。

○田中委員 ただいま庄司教育総務課長から説明がありましたように、改めて教育委員会表彰規程第 2 条第 3 号及び第 3 条第 2 号の規程に基づいて表彰される皆様方に心からお祝いを申し上げます。11 月 3 日が表彰の授与式ということですので、今ご紹介いただいた方については、立川の子どもたちをはじめ市民の皆様には大きな希望と勇気と挑戦することの尊さをお示しいただいたことについて、改めて心から感謝を申し上げます。

私から質問として 1 点ございます。今回、第 3 条第 2 号で表彰された方々の中で、特に顕

著なエピソードがありましたらご紹介いただきたいと思います、よろしく願いいたします。

○小町教育長 庄司教育総務課長。

○庄司教育総務課長 エピソードということでございますが、どなたも素晴らしい成績をあげていらっしゃると思いますので、全員の方をお伝えしたいのですが、あえてお伝えさせていただきますと、ご存知のとおり今年にはリオデジャネイロオリンピックが開催されました。国を代表して参加された方の中に立川在住、在勤の方が2名、オリンピックでいらっしゃるということが素晴らしいことだと思います。また、素晴らしい成績も収められたということでございます。

もうお一人は、聴覚に障害がある登山家の田村聡さんが初めてエベレスト登頂に成功されたということでございます。その体験を田村さんは立川第一中学校等で生徒たちに講演していただいております。すごくありがたいことだと思っております。子どもたちの励みになるかと思っております。

その他、2条関係、3条関係について、全国大会にも出場して良い成績を収められている生徒、児童がおります。また、表彰対象でなくても、実はこの前の審査の段階で落選してしまったような、例えば関東大会とか東京都大会で優秀な成績をあげられた方もたくさんいらっしゃいます。そういう方もいらっしゃいますので、ごく一部でございますけれどもご紹介させていただきます。

○小町教育長 田中委員。

○田中委員 本当にこれからがまた楽しみです。

○小町教育長 ほか、ございますか。佐伯委員。

○佐伯委員 市報のほうでもリオデジャネイロのことは紹介されていましたが。もっと始める前に、例えば学校でも「この競技には立川市在住の人が出ていますよ」みたいなこと、指導したみたいなことというのは学校側ではあるのですか。

○小町教育長 はい、栗原教育部長。

○栗原教育部長 佐伯委員からのご質問でございますが、朝長なつ美さん、近代五種に出場された選手につきましては、今、立川第九中学校がオリンピック・パラリンピック重点校になっておりまして、九中の生徒には朝長さんに向けた応援メッセージをビデオでつくっていただきました。かなり長編で、生徒の方たくさん参加していただきました。市主催でこちらの庁舎に朝長さんにお越しいただいて、関係の団体の代表の方から応援のメッセージをいただいたときに、その九中のビデオ応援メッセージを流していただきました。そのようなことで中学校とのふれ合いというか、関係も持ったところでございます。

○小町教育長 佐伯委員。

○佐伯委員 東京オリンピックのときにも、パブリックビューイングをこの競技についてやりますぐらい、立川の皆さんに是非、市民の方が出場したときにはご紹介をいただけたらいいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○小町教育長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○小町教育長 ないようでございます。

お諮りいたします。議案第38号、教育委員会表彰について、提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○小町教育長 異議なしと認めます。よって、議案第38号、教育委員会表彰について、は承認されました。

---

## ◎協 議

### (1) 統合小学校校名の公募について

○小町教育長 続きまして、2 協議(1)統合小学校校名の公募について、に入ります。

田村学務課長、説明をお願いいたします。

○田村学務課長 それでは学務課より、統合小学校の校名の公募について、説明いたします。

けやき台小学校と若葉小学校の平成30年4月の統合に向けて準備をしているところですが、統合後の校名につきましては、両校の校長、PTA会長、地域団体の代表によります新学校設立検討委員会で検討しています。

その委員会におきまして、校名の公募を行うことでまとまりましたので、その内容とスケジュールについて、資料に沿ってご説明いたします。

まず1 ページ目です。このような公募のチラシをつくりまして周知したいと考えております。スケジュールについては後ほど説明しますが、募集の締切は、平成29年1月10日としたいと思います。

応募できるのは立川市在住の方、応募方法は、若葉町の公共施設に応募箱を置くとともに、郵送や電子メールでも受付したいと思います。

次に2 ページ目をご覧ください。こちらは応募用紙です。この資料のように、表面の応募チラシの裏面に印刷して周知したいと思います。

3 ページ目にはスケジュールを表にしております。この2 行目ですが、広く周知するという事で12月10日発行の市広報紙に校名公募の記事を掲載する予定です。なお、地元の若葉町住民につきましては、表の中段に記載してありますとおり、広報紙発行より早く、概ね11月上旬から学校や自治会を通じてチラシの配布を開始したいと考えております。

来年1月10日の締切後は、新学校設立検討委員会におきまして審査を行い、絞り込みを行った後で、教育委員会で新校名の決定をしたいと考えております。

簡単ですが、説明は以上でございます。

○小町教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

はい、松野委員。



○松野委員 とても良いことだと思います。というのも、新たな学校づくりに地域の方々、市民の方々が参画できる一番の機会でありまして、なお、この応募用紙を見ますと、上記校名案の理由、提案した理由が分かります。ここに新しい学校に対する思いや願いや、こういったものが読み取れるような内容が出てくるのかなと思います。是非これを広く宣伝して、より多くの校名を寄せてほしいですね。

○小町教育長 ほか、ございますか。田中委員。

○田中委員 ご説明のとおり、新学校の「校名」決定スケジュール(案)はお示しになったわけですが、是非この方向でお進めいただきたいということが1つです。

意見としては、校名提案・決定にあたってでございます。新学校の「校名」決定スケジュール(案)を拝見しますと、平成29年の3月末から4月末、ここで経営会議、政策会議において校名の提案・決定がなされ、そのあと教育委員会に報告されると、そのようなスケジュールになっております。

その際に意見としては、統合小学校への決定の条件として、事務局がお示しになった2校の歴史と伝統を受け継ぐことは当然のことですけれども、さらに私としては、30年先あるいは50年先を考えて、子どもたちが夢や希望、そして誇りの持てる未来性に富んだ校名であることを是非考慮していただきたいと考えています。その意味では当該校の児童はもとより、多くの方々の応募を期待しておりますので、よろしく願いいたします。

○小町教育長 ほか、ございますか。佐伯委員

○佐伯委員 下書いてある、配布の自治会の名前が並んでいますけれども、これは事前に配布をする自治会、団体ということでよろしいですか。

○小町教育長 田村学務課長。

○田村学務課長 委員おっしゃったとおり、市の広報紙より先行して若葉町に属する自治会に配布するものでございます。

○小町教育長 佐伯委員。

○佐伯委員 この九番組自治会で若葉町内にのみ配布と、これは九番組のほうからそのようにしますというお話があったのか、それともこちらから、若葉町内のみなので、九番組自治会の中だけでも幸町は分けてという、こちらから依頼した感じですか。

○小町教育長 田村学務課長。

○田村学務課長 このスケジュールにつきましては新学校設立検討委員会で行っているのですが、そちらに地元団体の代表の方も入っております。その方も含めた検討委員会の委員の方々の意向としましては、全市的に広く周知は行くと。ただ、地元についてはこのチラシが家庭一枚いくようにしてほしいということなので、自治会を通した配布につきましても、若葉町のご家庭には一枚はいくということでこのようにしております。もちろん応募は全市的に受けるものですから、広報紙によって周知をしまして、応募用紙もご希望の方には配布するような形で行います。

○小町教育長 佐伯委員。

○佐伯委員 こちらのほうから、わざわざこういうふうに町名を自治会の中でも分けてくださ  
いみたいなお話があったとしたら、学校としては、自治会はたぶんお使いになると思います。  
幸町の方も町名が違って自治会に入っていらっしゃると何かと利用する機会があると思っ  
たので、少し気になったので質問させていただきました。

普通の配布は、広報紙に出たものというのは、役所に取りに来たりするといただけなので  
しょうか。

○田村学務課長 はい。

○小町教育長 ほか、ございますか。松野委員。

○松野委員 もう1点、このスケジュール表を見ていきますと、校名決定が3月、4月ですね。

このあと開校までに校歌は置いておいても、校章、校旗の作成が出てきますね。校章、デザ  
インを決定して開校までに間に合いそうですか。

○小町教育長 田村学務課長。

○田村学務課長 新校設立につきましては、委員おっしゃいますように校名以外に校歌ですと  
か校章を準備しなければいけません。そのこともこの新学校設立検討委員会で議論いたしま  
した。まずは校名を先行して検討すると。ここで公募して応募が始まりましたら、概ねの方  
向性は今年度中に確認したいと思います。今、審議の途中でございますが、今のところの委  
員の意見としましては、校章、校歌、校旗につきましては、必ずしも平成30年4月の開校時  
になければいけないということではないので、少なくとも統合年度の中でお披露目をするよ  
うな形を考えているということで、このことにつきましては、改めて、教育委員会の委員の  
皆様には方向性が確認できましたときに、ご報告したいと考えております。

○松野委員 分かりました。

○小町教育長 ほかに、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○小町教育長 ないようでございます。

それではお諮りいたします。協議(1)統合小学校校名の公募について、は提案のとおり承認  
することにご異議ございませんか。

〔「ありません」との声あり〕

○小町教育長 異議なしと認めます。よって、協議(1)統合小学校校名の公募について、は承認  
されました。

---

## ◎報 告

### (1) 平成28年第3回立川市議会定例会報告について

○小町教育長 続きまして、3報告(1)平成28年第3回立川市議会定例会報告について、に入  
ります。

栗原教育部長、お願いいたします。

○栗原教育部長 それでは、平成28年第3回立川市議会定例会の報告をさせていただきます。

資料につきましては、A4の両面刷りのプリントが一枚、それと冊子として綴っている左上に資料番号がふってあるものがございます。そちらを用いてご説明します。

それでは、A4一枚の報告の資料をご覧ください。

1 議会日程でございます。平成28年9月5日から9月29日の間、議会が開催されました。

資料1が議会の日程表となります。

議会の日程につきましては、5日から9日までが本会議、一般質問、そして9日につきましては、請願・陳情の付託、議案審議、決算特別委員会設置・付託となっております。

12日から15日まで4日間、決算特別委員会が開催されました。また、20日からは常任委員会が開催され、その中で文教委員会につきましては26日に開催されました。そして29日は本会議最終日で、ここでの議案の審議、委員会審査意見報告、継続要求等がございました。

続きまして一般質問でございます。

冊子となっている資料1ページおめくりください。2ページからが資料2となりまして、一般質問順序表でございます。2ページから9ページとなります。21人の議員から一般質問が出されました。質問の件名等については、この順序表のとおりでございます。

この中で特に教育に関係したご質問をいただいた内容等についてご説明いたします。

まず、受理番号1番、谷山きょう子議員からでございます。

ICTによる教育環境の充実の前に、まず教育施設の充実をということで、タブレットパソコンが学力向上につながるか？具体的な検証と公開をというご質問をいただきました。答弁としましては、昨年度タブレットパソコンを導入した中学校では様々な授業の中で利用されている。学力向上は小学校では上昇傾向が見られ、中学校では英語を除く、国語、社会、数学、理科の4教科で東京都平均を上回っている。今後、学力調査を用いて効果の検証を行うという答弁をいたしました。

続きまして、給食食材として地場野菜の供給率をあげるしくみづくりで農地を守ろう！、その中の質問としては、地場野菜の供給率をあげる取り組みの現状、ご質問いただきました。答弁としては、平成26年度に比較して27年度の立川産野菜の使用率は5.4ポイント上昇し、平均14.4%となった。先進市と比較すると使用率は低いが、今後も生産者との情報交換を進めていくという答弁いたしました。

続きまして同様の内容で、先進事例について、という内容でございます。小平市等のご紹介があった中で、答弁としては、本市においてはJA東京みどりの担当者は農家をとりまとめる役割を担っているが、小平市のような全体調整を行うコーディネートの役割までは担っていない。今後も他市の事例を参考に立川産野菜の活用を広げる仕組みを検討するという答弁をいたしました。

続きまして、現学校給食共同調理場の課題から「子ども主体の給食と食育」の充実をということで、それに関連しまして、「学校給食衛生管理基準に沿った施設整備」について、質問をいただきました。答弁としましては、学校給食共同調理場は国の衛生管理基準に適合した施設整備となっている。学校給食においては食中毒を起こさないことが最も重要な点である

という内容の答弁をいたしました。

同じく「共同調理校の残さ」の検証、というご質問いただきました。平成27年度の調査において、単独調理校に比較して共同調理校の残さが多いことは認識している。栄養士の派遣が共同調理校ではできていないこと等が残さが多いことの理由の一つと考えられる。残さを減らす対策を検討するというご答弁を申し上げます。

給食関連で、「単独調理校の存続」について、ご質問をいただきました。答弁としましては、共同調理場から小学校に配送する時間は学校間で差はあるが、二重保温食缶で配送しており、喫食時の温度に問題はないということ、学校給食共同調理場の新設にかかる基本的な考え方を策定し、小中学校PTA役員に報告するとともに、学校給食運営審議会に学校給食共同調理場の新設の諮問を行うことをご答弁申し上げます。

続きまして、受理番号3番、若木早苗議員でございます。

大きな題目としては、障がい者や高齢者が安心して暮らせるために、その中の質問としては、差別をなくすための取り組みについて、ご質問いただきました。答弁としましては都の人権教育プログラム等を活用し、教職員の研修に取り組んでいる。児童・生徒は道徳や総合的な学習の時間で学習し、障害者の理解を進めている。今年はいじめに関してSNS児童会・生徒会サミットを開催し、自ら考え行動する取り組みを展開していくことをご答弁申し上げます。

続きまして大きな項目としては、平和に関する取り組みについて、でございます。次世代へ語り継いでいくために、ということで、このことにつきましては記録を残してほしいということでございました。市民団体と連携して記録を残す取り組みを実施していくことをご答弁申し上げます。

続きまして、受理番号4番、中町聡議員からでございます。

LGBTについて、ご質問いただきました。LGBTの市のその後の取り組みについて、ということで以前にも同様の内容のご質問をいただいたところでございます。性的マイノリティとされる児童・生徒へ適切に対応するよう小中学校へ指示している。また、研修等通じて教職員の理解啓発を行っていることをご答弁申し上げます。

続きまして、受理番号7番、門倉正子議員でございます。

難聴者支援対策の拡充を、その中でFM補聴器に補助できないか？というご質問をいただきました。答弁としましては、就学相談の結果、必要が認められれば保護者や学校と合意形成を図り、具体的な対応を協議する。今年度からは言語聴覚士の訪問指導を試行実施するということをご答弁申し上げます。

続きまして、受理番号8番、稲橋ゆみ子議員からでございます。

中央図書館の今後のあり方について、その中で、指定管理者制度となった地域の図書館、学校等との連携と役割について、ご質問をいただきました。答弁としましては、毎月1回、指定管理者代表者との定例会議や事業者ごとの連絡調整会議を開催している。また、担当者会議は随時開催している。小学校へは団体貸出や学習用資料の提供等で連携している。中学

校ではおすすめ本の紹介やビブリオバトルの参加促進、団体貸出で連携をしている。また、新刊児童書を紹介するおすすめリストを小中学校図書館向けに作成し、学校図書選書の支援していることをご答弁申し上げました。

同じく図書館のことですが、中央図書館の担うべき役割について、ご質問いただきました。答弁としては、平成27年度のレファレンスサービスは中央図書館、地区館合わせて約5,500件の利用があった。未所蔵の資料については都内公立図書館と連携し取り寄せも行っている。平成27年7月から中央図書館の平日開館時間を午後8時まで延長した。午後5時以降に児童フロアの図書資料の閲覧、貸出を希望される方は2階、3階のカウンターで申し込みをいただいていること、また、ハンディキャップサービスは点字図書、録音図書の貸出や対面朗読を実施している。平成27年度は立川ろう学校の児童生徒が社会科見学で中央図書館を訪れ、職員が利用案内を行った。図書館は地域の情報拠点として市民の課題解決や交流の促進が図られるよう、さらなる機能強化について検討を進めているといった答弁をいたしました。

また、図書館の改修について、質問いただきました。答弁としましては、以前から利用環境整備に努めている。学習スペースとして夏休みには4階会議室スペースを開放している。レファレンス室は資料閲覧・調査研究等を目的とした利用となることを答弁申し上げました。

また大きな項目として、子育て・子育て支援の「アウトリーチ」について、その中でスクールソーシャルワーカーの取り組みについて、ご質問いただきました。スクールソーシャルワーカーは学校から要請があったときに派遣され、児童・生徒の保護者への支援や関係機関との連絡、調整等のコーディネーターにあたる。今後も効果的な活用を図って児童・生徒が安心して学べる環境をつくることをご答弁申し上げました。

続きまして、受理番号13番、永元須摩子議員でございます。

大きな項目としては、子育て支援について、その中で、就学援助の拡充・入学準備金の前倒しについて、ご質問をいただきました。答弁としましては、国が生活保護基準を引き下げたが、本市は平成22年4月1日現在の基準を継続し影響を出さないようにしている。就学援助は学期ごとに年3回支給している。八王子市は平成29年度入学者に入学準備金として入学前の3月に支給すると聞いている。本市でも他市の取組を参考に入学前支給を検討することをご答弁申し上げました。

続きまして、受理番号14番、高口靖彦議員です。

大きな項目としては、電子行政・電子社会について、その中でICT教育と道徳教育の充実に向けて、ご質問をいただきました。答弁としましては、平成27年11月に中学校9校と小学校2校、今年9月に小学校18校にタブレット端末を導入した。デジタル教科書は小学校で4教科、中学校で5教科に導入をしている。今後市内の全小中学校において授業におけるデジタル教科書を活用した効果的な事例を共有化し、さらなる活用を図ることをご答弁申し上げました。また、日本マイクロソフト株式会社と協定を締結し、教員研修や授業改善のための助言をいただいている。プログラミング教育についてはプログラミング的思考を育成す

ることを目的としている。実践に向けた教育を進めていく。

ここからは道徳に絡んだことをございます。学習指導要領改訂により道徳の教科は小学校では平成30年度、中学校では31年度から全面実施される。円滑な実施に向け今年度から道徳教育開発委員会を設置し、一人ひとりの児童・生徒が自分自身の問題と捉え、向き合い、考えること、議論する道徳へ転換を図ることをご答弁申し上げます。

続きまして、受理番号16番、中山ひと美議員です。

大きく、教育行政について、ご質問をいただきました。1点目は中学校の部活動の現状と推進課題について、ございます。答弁としましては、中学校の部活動は生徒の健全育成、人格形成上、意義ある教育活動である。部活動加入率は運動部で56%、文化部で30%となっている。部活動の実態に応じて週1日程度休養日を設定している。部活動外部指導員は計92人が活動しているが、今後、東京女子体育大学や体育協会等との関係機関と連携を深め人材を確保する。

また、オリンピック・パラリンピック教育の推進についてもご質問いただきました。答弁としましては、総合的な学習の時間や体育はもちろんのこと、教育活動全体の中でオリンピック・パラリンピック教育を位置付け、推進していることを答弁いたしました。

続きまして、受理番号18番、大沢純一議員です。

学校のトイレ改修について、小中学校のトイレ改修に対する見解と今後の見通し、というご質問をいただきました。答弁としては、現在は保全計画による大規模改修工事等を実施する際にトイレ改修を実施している。排水管を含め改修する場合は1億円以上の費用がかかるため、大規模改修工事実施後以外はトイレ清掃の徹底や悪臭防止の取り組みを中心に現在は対応していると答弁申し上げます。

また民間資金による改修、ということをございます。事例を用いてご質問いただきました。

このことにつきましては、今後民間事業者の活用を検討すると答弁いたしました。

最後をございます。受理番号20番、大沢豊議員をございます。

生活困窮者支援について、子どもの貧困について、ご質問いただきました。答弁としましては、家庭での養育が困難、また虐待等が疑われるケースは関係機関と連携を図るとともに、日頃から児童・生徒の状況把握に努め、スクールソーシャルワーカーを効果的に活用し児童・生徒が安心して学べる環境をつくるというご答弁申し上げます。

続きまして、資料一枚目のほうをご覧ください。

続きまして補正予算の審議がございました。9月9日となります。

この中では教育費としては2件出しております。

1つは事業名としては、特別支援教育の推進、教育支援課から、医療的ケアが必要な児童に対する臨時看護師の派遣のための賃金を補正予算で上げたところをございます。

また、学校給食課からは消耗品費、これは現在大規模改修が行われております第八小学校の給食調理室に係る消耗品をございます。それと消毒保管機の購入をございますが、これにつきましては第一小学校が今後児童数が増加することが見込まれ、この保管機自体が不

足ることが予想されますので、来年度を見越した中で、ここで補正予算を上げさせていただいたものでございます。

この2件の補正予算につきましては、議会でご承認をいただいたところでございます。

続きまして4番、請願・陳情の付託、議案審議、決算特別委員会設置・付託でございます。

決算特別委員会付託の前に、市長より決算の説明を行いました。またそれに関連して2名の議員から決算総括質問という形で質問をいただきました。

教育費に関する決算の質問としては、子どもの貧困対策について、特別教室等への空調機の設置について、生活保護基準引き下げによる就学援助への影響について、学校統合について、ご質問をいただいたところでございます。

A4の資料の裏面をご覧ください。

決算特別委員会が設置され4日間の審議がありました。その中で教育費に関する質問、教育費が4日目に審議が行われました。その項目を列挙いたしました。

そちら読ませていただきますと、学習等供用施設の附帯設備について、歴史民俗資料館の利用者数等について、防犯カメラの設置について、小中学校校長会からの予算要望への対応について、学校プールの改修について、青春学級の運営について、小学校の水道について、学校図書館の図書の利用について、校庭の芝生化について、就学援助について、学校施設の非構造部材耐震化について、教職員用パソコンのウィルス対策について、ネットワーク型の学校経営について、部活動における外部指導員の活用について、学校トイレの環境改善について、学校支援ボランティアの活用状況についてということで、全て平成27年度の実績に対する質問と主に今後の展開についてご質問いただき、それぞれ教育部からご答弁申し上げたところです。

続きまして、6文教委員会でございます。

文教委員会につきましては、9月26日月曜日に開催されました。これにつきましては冊子の資料の10ページをご覧ください。資料3が文教委員会のそれぞれ議案・請願・陳情、報告事項、所管事項質問を表わしております。

まず最初に、議案・請願・陳情のところですが、順番としては請願第6号を先に審議されたわけでございます。

請願第6号につきましては、冊子の資料13ページ、資料5、請願第6号「若葉町における新小学校建設に関する請願」をいただいたところでございます。

請願の要旨等はこの資料5のとおりでございます。このことに関しまして、文教委員会では請願者への質問、また教育委員会への質問をいただいたところでございます。その後採決をし、賛成少数にて不採択でございました。また最終日の本会議、これは議員全員となりますが、審議をした結果、この請願については、不採択という結果となっております。

続きまして、議員提出議案第10号「立川市学校給食費補助金交付条例」について審議されました。これにつきましては冊子の資料11ページ、資料4をご覧ください。

この内容につきましては、来年の4月から補助金を新たに設定するというものです。これ

につきましては10月から小学校、中学校それぞれ、給食費、保護者負担の部分を改定したことに合わせてこの条例提案という形で議員から提出されたものでございます。これにつきましても文教委員会で審議し、文教委員会での採決の結果は否決でございます。本会議においても否決をされたところでございます。

続きまして資料3、10ページをお開きください。報告事項でございます。

教育部の各課から報告事項が10件ございました。

その内容につきまして、文教委員からご質問をいただいた内容を一部紹介いたします。

まず、ICTに関しましては、ICTの整備ということで教員からの声や校内での使用についてということでご質問をいただきました。

学校給食共同調理場の新設に関しましては、単独調理校の保護者から意見を聞いたのか等の質問がございました。

またSNSの利用につきましては、アンケートでトラブルという報告がございまして、そういう内容について、また、これから開催する児童会・生徒会サミットに講師を呼ぶのかというようなご質問がございました。

この文教委員会で、教育委員会でご審議いただきました教育委員会の点検・評価についても報告をしたところでございますが、教育委員会資料の公開についてのご質問等がございました。また、様々な表記の仕方について、さらに見やすい方法をとったご意見をいただいたところでございます。

また保全計画の変更につきましては、第七小学校の大規模改修工事のスケジュール変更に伴って、他校へ影響するのかというご質問がございました。

また南砂小学校のスクールゾーン設置については、そういった標識、路面舗装は担当部署はどこになるのかというご質問いただきました。

新学校設立に関しましては、業者が新生小学校のマスタープランつくった業者でございまして、そういったことを重視したのかというようにご質問をいただきました。

今の新学校については、意見としては、新しいすばらしい教育環境をつくっていただきたい、校歌の作曲等に関する提案、そういったことをいただいたところでございます。

以上、長くなりましたが、9月議会に対する報告を終了いたします。

○小町教育長 報告ありがとうございました。

これより質疑に移ります。報告内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

はい、田中委員。

○田中委員 栗原教育部長から、一般質問については受理番号1から21まで、本当に丁寧に一つ一つ、議会でそれぞれの議員の質問に対して対応されているということで感心いたしました。ありがとうございます。

私から1点だけお伺いしたいと思います。10ページ、資料3の文教委員会、3の所管事項質問として出ておりますが、1つは、子ども達が文化芸術に触れる機会についての質問と、もう1つは特別支援教育について質問があったわけですが、その答弁の概要をお聞かせいた



だけるとありがたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○小町教育長 栗原教育部長。

○栗原教育部長 私のほうの説明で、所管事項のところまでご説明しなくて申し訳ございませんでした。

所管事項、まず、子どもたちが文化芸術に触れる機会についてということで、現在は立川市の地域文化振興財団と連携した中で様々な教室を展開しているところでございます。その中でご質問としては小中学校の音楽鑑賞教室、その実施形態についてご質問をいただきました。その中で小学校、中学校それぞれの実施形態について答弁申し上げました。小学校についてはニーズに応じて派遣しているということ、中学校においては国立音楽大学の講堂大ホールでオーケストラの演奏による鑑賞教室の実施のことをご説明いたしました。また、洋楽だけではなく、邦楽として琴や尺八、三味線等の和楽器の演奏等も実施していることをご答弁申し上げたところでございます。

児童・生徒また教職員からの感想ということでご質問いただきました。児童・生徒からは、間近で演奏がみられて楽しかった、迫力があつた、そういった声をいただいていることのご紹介をいたしました。教員からの声としましては、期待どおりの内容であったということ、児童の意欲を引き出すことができた、そういった感想をいただいております。

それと平成 29 年度、来年度についてどのような形態でということでございますが、基本的には今年度と同様の内容でということでご答弁申し上げたところでございます。

それと、文化芸術による子どもの育成事業、こういったことを公募で行っているところでございますが、その立川市の学校の応募状況についてご質問がございましたので、今までの応募状況等について実績を申し上げたところでございます。

特別支援教育につきましては、今年度から「特別支援教室キラリ」を導入しました。その実施状況についてご質問をいただきましたので、現在の導入の状況等についてご説明いたしました。導入するにあたって予算や教材が不十分ではないかというご質問をいただきました。その中では、都からの補助金等も活用して整備に充てているというところのご説明をしたところでございます。

○小町教育長 田中委員。

○田中委員 丁寧な説明ありがとうございました。子どもたちが文化芸術に触れる機会については、先ほどお話がありましたように、洋楽の教育から邦楽の教育、非常に力を入れてきている。これについては現行の学習指導要領の中にも伝統文化を尊重するとありますので、それを踏まえた上で、様々な教育委員会としての対応をしていただいていることに感謝申し上げます。

特別支援教育については、私も想定した質問であったと思いますが、それについても予算が伴う中で、補助金を活用しながら一つ一つ対応されていることについて、お礼申し上げます。ありがとうございました。

○小町教育長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○小町教育長 ないようでございます。

これで報告(1)平成28年第3回立川市議会定例会報告について、報告及び質疑を終了いたします。

○小町教育長 次に、その他に入ります。

その他、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○小町教育長 ないようでございます。

---

#### ◎閉会の辞

○小町教育長 次回の日程を確認いたします。次回、平成28年第20回立川市教育委員会定例会は平成28年10月27日、午後1時半から、302会議室で開催いたします。

これをもちまして、平成28年19回立川市教育委員会定例会を終了いたします。

午後1時55分

署名委員

.....

教育長